

特集

# 菰野

# の水

The Water Story

菰野の水は豊かな自然の恵み

**鈴** 鹿山脈の麓に位置する菰野町は、全国的にも水の質、量ともに恵まれた地域です。この水は米、大豆、麦、マコモなど多彩な農作物や植物を育み、たくさん恵みをもたらす源にもなっています。

私たちが普段利用している水道水も、鈴鹿山脈に降り積もった雪の融水や雨水が百年以上かけて石灰岩質層でろ過された豊富なミネラルを含む自然が生み出す天然水を主な水源として、町内の深井戸から取水しつくられています。

私たちに恵みをもたらし、生活の源となっている菰野の水。しかし、菰野の水がどのように浄水処理され、各家庭へ供給されているのかわからない方も多いのではないのでしょうか。そこで今回は、皆さんが日常的に何気なく利用している菰野の水とその秘密について迫ってみたいと思います。



## SPOT 地蔵池

正式には上池といい、南部公民館隣の五郎兵衛地蔵の近くにあることから地蔵池と呼ばれています。池の中をのぞくと地下から水が常に湧き出ている様子がわかり、いつでも澄みきった水を眺めることができます。

米の栽培にはきれいな水を安定して供給しなければなりません。神森の田んぼに流し入れる水は安定して湧き出ており、年間を通して水温が一定です。菰野の水で育ったお米もぜひ味わってみてください。



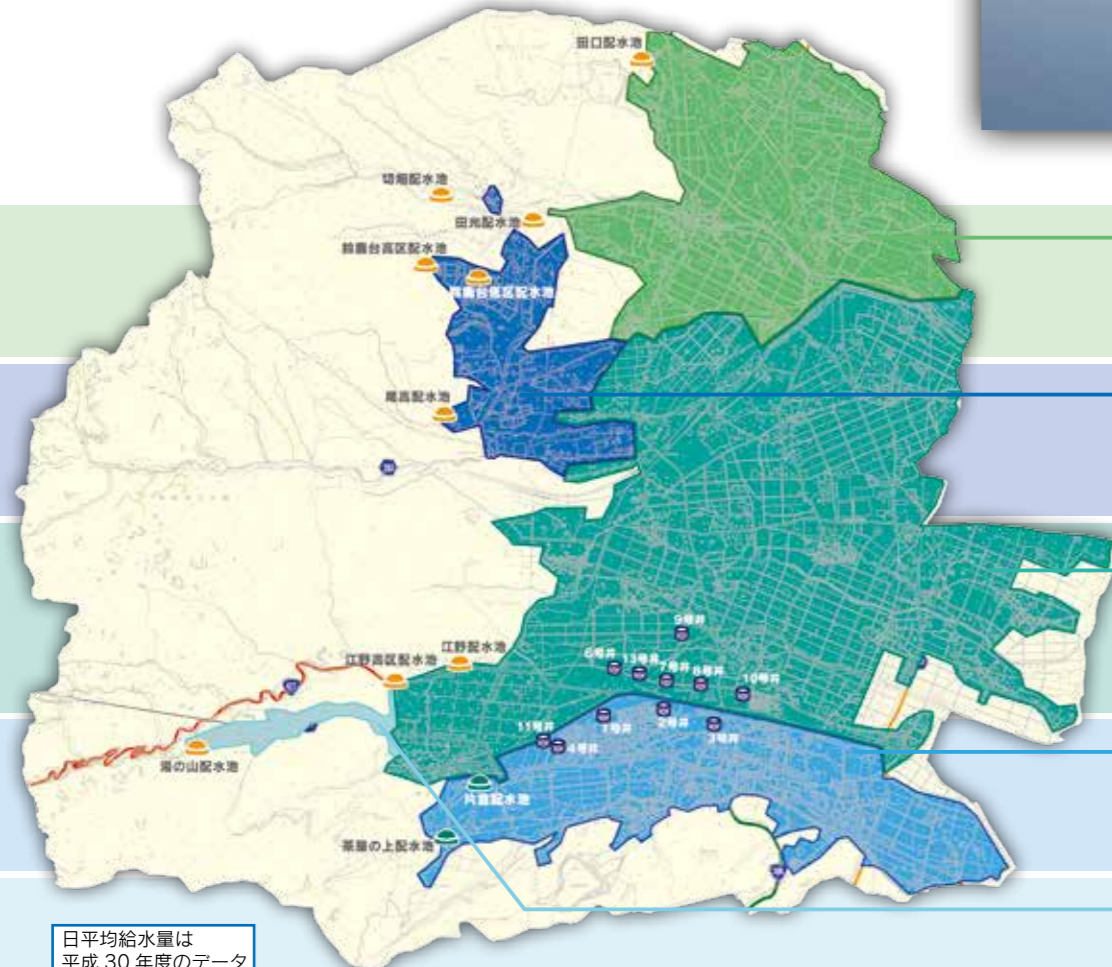
おいしいお米を考える会 代表  
西田尚史さん **神森**

## 町内5つのエリアに分けて配水

**菰** 野町では水道水を5つのエリアに分けて届けています。

まず、湯の山区などを除く菰野地区を大羽根水系、千種地区や鶴川地区、竹永地区のほぼ全域と杉谷区などの朝上地区南部を潤田水系と称し、町内の深井戸を主な水源として配水を行っています。

次に、切畑区や鈴鹿台区などを切畑水系、田光区や田口区、田口新区、小島区などの朝上地区北部を田光水系と称し、三重県から受水する県水を水源として配水しています。残る湯の山区などに配水する湯の山水系は、三滝川から取水した水を浄水処理して配水しています。



**田光水系**  
日平均給水量 1,598m<sup>3</sup>  
配水エリア  
田光区、田口区、田口新区、小島区など

**切畑水系**  
日平均給水量 387m<sup>3</sup>  
配水エリア  
切畑区、鈴鹿台区など

**潤田水系**  
日平均給水量 6,288m<sup>3</sup>  
配水エリア  
竹永地区全域、千種地区全域など

**大羽根水系**  
日平均給水量 4,132m<sup>3</sup>  
配水エリア  
湯の山区などを除く菰野地区

**湯の山水系**  
日平均給水量 531m<sup>3</sup>  
配水エリア  
湯の山区など

日平均給水量は平成30年度のデータ

## SPOT ブナ清水

朝明川の源流ともいわれるブナ清水は朝明渓谷を進み伊勢谷のブナ林と呼ばれる場所にあります。大きな2枚の岩石が積み重なり、その下の空洞からこんこんと清水が湧き出ており、登山者の憩いの場となっています。



## 自然の力でろ過された水

**町** 内の水道水の水源の中でも特に供給世帯の多い大羽根水系、潤田水系は三滝川近辺の地下約200mの深井戸から取水した水を主に使用しています。そのため、河川から取水して行う浄水処理とは異なり、基本的には塩素滅菌のみで水道水として利用できます。また、深井戸は降水量の影響を受けにくく、安定した水量を得られやすいという利点もあります。

## 水道 CHECK 菰野の水は軟水？硬水？

カルシウムおよびマグネシウムを比較的多く含む天然水を硬水、それらの含有量が少ない天然水を軟水といいます。菰野の水は軟水です。



# 豊かな水に恵まれた菰野町